

失敗から学ぶ教育への新たな視点

竹内 一（徳島文理大学 香川薬学部 准教授）

講師略歴

専門は生化学・免疫学・食品衛生学。2016年より、徳島文理大学香川薬学部にて入学前教育および初年次教育の実施責任者を務める。コロナ禍においては、オンライン講義実施のためのインフラ整備や教材コンテンツの作成指導に携わる。令和4年度の薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に伴い、カリキュラムおよびシラバス作成支援を担当。現在は、薬学生の留年・退学に関わる学習方略の特性について研究を進めている。

プログラム概要

論文、学会、セミナー、研修などでは、教育分野におけるさまざまな優れた取り組み事例が報告されています。しかし、それらを自大学に実践しようとする、当初の想定通りにいかず思わぬ結果になってしまうことがあります。あるいは、導入検討段階で思わぬ課題に直面し、やむを得ず断念するケースも少なくありません。本プログラムでは、こうした教育分野における「失敗事例」を互いに共有し、その原因や改善策を共に考えていきます。その過程を通じて、現場でのより良いアプローチに見出すための新たな視点をを得ることを目的としています。今回取り上げるのは、講義手法に限らず、評価方法、シラバス作成、学生支援など、学生への教育全般に関する取り組みです。グループディスカッションの時間を多く設けていますので、ご自身の経験を積極的に共有して新たな気づきや活力を得るための機会としましょう。

準備物・事前課題

これまでに試してみた講義や学生支援のための方法、あるいは導入しようとしたが種々の理由により断念した教育・支援手法について思い出してください。

主な受講対象者

- ・講義や学生支援を改善する必要性を感じている教員
- ・教育や学生支援方法の改善に取り組んだものの、期待した効果が得られず悩んでいる教員
- ・新たな教育手法の導入を試みたが、保留または断念した経験をもつ教員

到達目標

1. 教育現場で起こる失敗事例の傾向を把握できる。
2. 失敗事例の原因となり得る事象の傾向を把握できる。
3. 失敗事例を基に改善や新規手法開発の手がかりを見つけることができる。